

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 4 年 3 月 31日

事業所名 児童発達支援センター 向島あづみ(児童発達支援)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	60%	40%	・収納を工夫し広く使えるように工夫している。	・狭さから物理的構造化が不十分だ。そこで不要な物を処分し、棚や収納ケースの工夫や活用をした。
	②	職員の配置数は適切である	53%	47%	・専門職を含めた配置のカウントとなっている。	・必要に応じて、専門職や副園長や児発管がサブとして集団療育に入っている。 ・保育士の人数の増を希望する。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	47%	53%	・ハンドマイクで対応している。 ・段差への対応は、手直しをしながら、対応している。	・既存の建物を再利用しているが故に一斉の放送設備が不備である。 ・個々に合わせた構造化が、十分にできていない。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	53%	47%	・日々整理整頓を心がけ掃除を毎日実施している。 ・コロナ禍で指導室の室温・湿度・換気に留意している。 ・指導室・廊下・園庭の境がないので、飛び出しをしないようマンツーマンで見守っている。	・1ヶ月に1回は、安全点検日を設けて、全職員で点検確認を行っている。 ・危険のある箇所は、できる範囲内で改修を行っている。 ・整理整頓が、不十分なところがある。 ・構造化について職員全体で確認しながら、進めていきたい。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している	80%	20%	・毎月の職員会議・毎日の朝礼・終礼等で実施している。	・3学期には個々に関して支援計画に基づいた実践交流や振り返りなどを実施できた。今後も年間計画を立てて、計画的に進めていきたい。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	保護者の声を真摯に受け止め、療育の展開を行っている。	・園の年間計画・個別の支援計画などに反映させている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	87%	13%	・ホームページで公開している。	・今後も継続していく。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	47%	53%	・第三者による外部評価は実施していない。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・研修は、各事業所や全体でも実施している。	・全体で講師を招聘し学ぶ機会を多く設定している。また、事業所内で(月1回)の評価をもとに自己研鑽をし、改善にも努める。
適切な支	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・実施中	・アセスメント結果を踏まえて、支援計画を作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用している	93%	7%	・実施中	・発達検査、知能検査を実施している。

支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	・実施中 オンライン研修 事業所内の専門分野からのプレゼンにより、職員が互いに学ぶ合う。	・園児の支援に必要な項目を選択し、具体的な支援内容を設定している。 ・本人や家庭支援を支援計画に取り入れ、具体的な支援内容を設定している。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	93%	7%	・各クラスを保育力に差が出ないよう構成メンバーを考慮して決定している。また、支援計画の進捗をPDCAサイクルで検討しながら支援を行っている。	・継続中
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	53%	47%	・一部の職員(リーダー)に依存することが多い。 ・行事の際は、立案を全職員で確認を行っている。	・保育リーダー・専門職の意見を入れて立案することが望ましい。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	93%	7%	・四季に応じた活動を計画している。 ・各領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)に示されている内容を実施している	・内容をバランス良くプログラミングし活動をしている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	93%	7%	・全ての園児に個々に応じて支援計画を作成している。	・実施中
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	73%	27%	・朝礼で予定は周知されるが、役割分担などは、明確化されていない。	・短時間で確認し合う事は難しい点もあるが、可能などころから、確認をし合っていく。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	73%	27%	・終礼で気付いた点も共有している。	・継続中
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	93%	7%	・記録をとり支援の検証改善を行っている。 ・会に参加できなかった職員は、記録を読むことにより共有している	・継続中
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・モニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断している。	・継続中
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	87%	13%	・常に最もふさわしい者が参画しているとは言えない。
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	・必要に応じて、連携を行っている。	・継続中
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
㉕		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	・カンファレンス(半年に一回)で情報共有を図っている。	・継続中

携	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	・カンファレンスで支援内容、家族に関する情報の共有を図っている。	・継続中
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	73%	27%	・他機関より講師を招聘し、作業療法や言語指導を受けている。	・継続中
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	13%	87%	・交流の機会は持っていない。	・職員の交流はできるが、園児との交流の時間を作ることは難しい。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	53%	47%	・代表者が参加している。(児童部会)	・継続中
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	93%	7%	・送迎時に会える保護者とは話す機会がおおいが、公用車で送迎をする園児の保護者とは対話の回数は少ない。 ・連絡帳の活用を全児対象に行っている。	・継続中
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	87%	13%	・コロナ禍でペアトレを計画していたが、実施できないクラスもあった。	・コロナ禍の収束があれば、全クラスの実施をめざしていく。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	・入園時に説明を実施している。	・継続中
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	・支援内容の説明を行い、保護者からの児童発達支援計画の同意を得ている。	・継続中
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・個別指導や面談で定期的に保護者からの相談に応じている。	・継続中
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	・実施できていない。	・コロナ禍の収束があれば、計画していきたい。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	47%	53%	・相談窓口を設置している。 ・苦情受付担当者の周知をしている。	・継続中
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・園たより・クラスだよりの発行をしている。	・継続中
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	・個人情報の取り扱いには細心の注意をはらっている。例えば在籍している園児名が、園外からはみえないようにする。	・継続中
③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	93%	7%	・伝わりやすい方法で情報を伝達するようにしている。例えば視覚提示し情報を伝えている。	・継続中	

	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	67%	33%	・地域の教育力を園の誕生日会や行事に参加していただいた。(毎月機会を作った。)	・継続中
非常時の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに発生を想定した訓練を実施している	87%	13%	・マニュアルを作成し、職員に周知している。 ・保護者には書面で周知している。	・継続中
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・毎月の避難訓練の実施、年間一回消防職員からの総合訓練、実施指導受けている。	・継続中
	④⑬	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	・入園時健康状態を確認し職員間で情報を共有している。変化があった場合には、再度職員間で情報共有を図っている。	・継続中
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	93%	7%	・医師の指示書に基づく対応をしている。アレルギー食が分かるように、表示している。 ・入園前に保護者、調理員で確認をする。	・継続中
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	47%	53%	・事故報告を行っているがヒヤリハット集は作成していない。	・今後事例作成をしていく予定である。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・外部講師を招聘し研修を実施した。	・継続中
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	80%	20%	・身体拘束は行っていないので、支援計画には記載していない。	・継続中

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表： 令和4年3月31日

事業所名 児童発達支援センター向島あづみ

保護者等数(児童数)60世帯

割合 87%回収

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	88%	10%	2%	0%	・大人も居ると狭く感じます。 ・奥まった場所で狭く感じる。 ・クラスでの活動は見る機会が少ないのでわからないが、プレールームやグラウンドでは、伸び伸びと活動している。	・つり戸棚を設置し収納スペースの確保をした。 ・園児の導線を考慮し、机・タンスの配置替えを行った。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	98%	0%	0%	2%	・先生の関わりを見ていると流石だと感じました。専門性は高いと思います。	・今までの状況に安堵することなく、今まで以上に自己研鑽をする。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	77%	13%	0%	10%	・教室内は子どもにとって分かりやすい。 ・今の活動の次にすることを絵やボードで示され理解し易い。 ・駐車場が狭いので、運動場に乗り入れる事がある。子どもを運動場で遊ばせにくくなっている。そこでの配慮は大変だと思う。	・工夫された構造化を継続する。 ・園庭に駐車する車の台数をセーブする為には、職員の駐車位置の変更を行っている。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	88%	8%	0%	4%	・ゴミが落ちていたことといった事をみたことがなく、いつも清潔な環境だと思う。	・環境構成を全職員で意識統一をして行い、清掃も花壇や畑への水やりを実行している。 ・活動内容に合わせて、指導室だけでなくプレールームや園庭を活用している。
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	94%	2%	0%	4%	・大きい目標以外にもいろいろな伝達をスムーズにし、子どもの一日一日に合った対応が理想。	・多種職が支援計画の作成に携わることで、子どもの課題やニーズが客観的に分析された支援計画になるようにしている。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	81%	4%	0%	15%	・親は連絡帳への記入はあまりできていないが、園からの連絡帳を読むことはとても楽しみです。	・毎日顔を会わず回数が少ない事を補うためにも、連絡帳や電話での対応に注意を払い、保護者の思いを受け止めることに努める。 ・職員間や保護者での計画の確認をし、課題を共有して保護者への働きかけを行う。また、保護者との懇談では振り返りを行い、家庭でできる次の提案を一緒に考えていく。 ・常に個々のケースに合わせた支援を行うよう努めている。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	90%	4%	0%	6%	・個別・集団指導の中で取り組んでくれている	・継続する。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	83%	4%	0%	13%	・おたよりからいろいろな活動をしている事がうかがえる。	・参観日では入園してからの園での活動を映像で見させていただいたり、クラスだより・園だよりで視覚で提示して活動の内容を知ってもらうことができるようにしている。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	38%	15%	2%	44%	・コロナ禍で交流が減っているとは思いますが、コロナが落ち着いたら、『実施できればいい』と思います。 ・コロナ禍だから他園との交流は難しいと思	・保育所や認定こども園との連携を密にしていく中で、交流の機会を模索していく。
保護者 への 説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	92%	6%	0%	2%	・初めてで戸惑いましたが、丁寧な説明でありがたかったです。	・継続する。
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	94%	0%	0%	6%	・支援計画はあるが、ガイドラインを基にしているかはわからない。	・個別等で分かりやすく説明していく。 ・職員間でガイドラインの内容を共有し、それに基づいて支援計画を作成する段階で、意識統一を図っていく。
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	81%	6%	4%	10%	・ペアトレで、取り入れやすいアドバイスもあり参考になっている。 ・ペアトレで『褒める』という事の大切さを学んだ。 ・コロナの感染拡大時 ペアトレができなかった。 ・先生や他の保護者の方の意見を聴くこと	・今後もコロナの感染状況に応じて、ペアトレができるか否かを判断をしていく。
⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	92%	4%	0%	4%	・行事や送迎時に話が来ている。 ・担任の先生方から口頭で今日の様子や変化などを教えて下さり安心している。 ・連絡帳でやりとりできている ・バス通園なので、日頃からはいらないが、気になる事があれば直ぐに教えてもらっています。共通理解はできていると思います。 ・どんなことに我が子が困っているのか教えてもらって、家での声かけや取り組みに繋げ	・日頃から園児の事を中心に、口頭や連絡帳で保護者との報告・連絡・相談等は必須である。細かなことでも成長や変化を確認し合っていく。	

	⑭	定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	96%	4%	0%	0%	・各クラスの個別懇談がある。 ・お忙しいのに面談の機会を度々作って頂いて、本当にありがたいです。 ・心理・言語の個別指導に参加できない時には、丁寧に文章での結果を連絡下さり現状がよく分かってありがたい。 ・困りごとや進路などの相談を聴いて頂き、親も助かりました。 ・先生方に話しを聞いてもらえ、一緒に考え、アドバイスももらって助かっています。	・個別懇談は、保護者の意向を踏まえて日程を付けている。 ・懇談の必要な保護者には、CFの順番を留意し計画を立て、CF後に話す時間を設けている。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	48%	17%	4%	31%	・コロナ禍で難しい。	・コロナ禍で難しいが、できることを模索中である。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	90%	4%	0%	6%	・連絡帳で意見や相談に対応してもらっている。 ・すぐに相談に応じてくれる。 ・いつも迅速です。 ・安心して子どもをお願いできます。	・配布文章を落としていないか細心の注意をはらう。また、返信のない家庭には、声をかけ提出を促している。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	90%	4%	0%	6%	・連絡ノート いつも大変役立っています。大事なノートです。 ・連絡帳でもよく様子を教えてもらっているし、とても相談しやすい。	・各家庭に対する配慮は異なる事を前提に進めている。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	88%	0%	0%	12%	・会報を受け取っている。 ・クラス便りを発行してもらっている。 ・写真などが貼り付けてあり、活動などわかりやすい。	・継続する。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	88%	0%	0%	12%		・重点事項と受け止めて、取り扱いを留意している。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	77%	2%	0%	21%	・入園時に説明は受けている。 ・防災訓練やコロナ対策をしてくれている。 ・訓練の様子をもっと知りたい。親子で避難訓練をしても良い機会になるのでは。	・継続する。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	81%	4%	0%	15%	・火災訓練の時の話しを子どもがたくさんしてくれました。とても興味深かったです。	・継続する。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	87%	8%	4%	2%	・今は涙が多い時期ですが、親子で頑張る時期だと理解しています。 ・時々ぐずる時はあるけれど、家に帰ってくると楽しかったと話しをよくしてくれる。 ・行くまでは・・・だが、帰りはとても楽しそうにしている。 ・通園を楽しみにしており、帰ってくると嬉しそうに園での出来事を教えてくれます。	・子どもが楽しく通うことが出来るように活動の内容・支援方法を考えていく。 ・見通しをもって通園できるように登園日や活動等を事前に知らせるようにしていく
	㉓	事業所の支援に満足しているか	92%	4%	0%	4%	・課題はまだまだ多いですが、悩みができる度に一緒に考えて下さる支援に親のメンタルをも支えてもらっています。 ・子どもの為にどうすれば子どもが生きやすくなるかを考えてくださる先生と園の支援に感謝しています。 ・コロナ禍で園に行く機会は少ないが、子どもの様子をお便りや連絡帳で教えてくれ、成長の姿がよく分かる。 ・いつもありがとうございます。と思っています。 ・年長児の3月末の療育は無理でも保育してくれる場を作って頂ければと思います。	・継続する。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。